

様式第2号（第8関係）

# 登 所 申 出 書

（あて先） \_\_\_\_\_ 保育所長

児童名 （ \_\_\_\_\_ ）

病 名 (該当する番号 に○印をつけて ください)	1	溶連菌感染症	2	マイコプラズマ肺炎
	3	手足口病	4	伝染性紅斑（リンゴ病）
	5	ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）		
	6	ヘルパンギーナ	7	RSウイルス感染症
	8	帯状疱疹	9	突発性発疹
	10	伝染性膿痂疹（とびひ）		

（医療機関名） \_\_\_\_\_ において

症状が回復し、集団生活に支障がないと診断されましたので、登所します。

年 月 日

（保護者名） \_\_\_\_\_

別表第2（医師の診断をもとに保護者が記入する登所申出書が必要な感染症）

感染症名	感染しやすい期間	登所のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍 <small>かいよう</small> が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが、数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
伝染性膿痂疹 <small>のうがしん</small> （とびひ）	効果的治療開始後24時間まで	皮疹が乾燥しているか湿潤部位が被覆できる程度のものであること